

令和7年度 大鹿村森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

令和8年 6月

1 森林経営管理制度 市町村実施方針

別紙のとおり （ 大鹿村森林経営管理制度実施方針 ）

2 森林環境譲与税導入の効果

- ・地籍調査完了していない対象森林について、森林所有者への境界を明確化させることにより所有する山林に関心を持ってもらい、次の意向調査に進めるようにする。また今後の地籍調査事業にも活用する。
- ・林地台帳システムを再構築することにより引き続き県とのデータのやり取りを進めることができる。
- ・高性能林業機械を森林組合に導入することにより、作業効率を上げ広域的に森林施業を進めることができる。
- ・役場庁舎から率先して村産材（カラマツ）を使い、引き続き公共施設だけでなく大鹿産カラマツ材の普及を進める。
- ・次年度以降の事業推進に使用するため、残額を基金に積み立てました。

3 森林環境譲与税を活用した事業一覧

（1）森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	事業効果
			うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
		0	0	0	0			
小計		0	0	0	0			

（2）その他事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	事業効果
			うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
① 森林所有者の意向調査の準備作業（森林の現況把握、境界の確認・明確化等）	森林境界推測図作成業務委託	14,080	14,080	0	0	未国調地における境界の明確化（森林境界推測図の作成）	境界の明確化（森林境界推測図の作成） 2.56km ²	未国調地が多く残る村内の森林について、森林の適切な管理に欠かさない所有境界の明確化（森林境界推測図の作成）を実施することができた。また成果品をGISに反映させることができた。
① 森林所有者の意向調査の準備作業（森林の現況把握、境界の確認・明確化等）	森林境界情報システム作成委託	198	198	0	0	森林境界推測図活用を図るため、既存GISシステムにデータを搭載	境界の明確化（森林境界推測図の作成） データの搭載	推測された境界線をGISに反映させることで、地図上で可視化できる環境を整えることができた。
⑬ 木造公共建築物等の整備・内装木質化	役場庁舎木質化事業	4,840	4,840	0	0	村有林産カラマツ材の壁材の活用。	庁舎壁材張替 31.0m ²	村内で育ったカラマツを、村の拠り所である役場に還すことで、地域資源の価値を再発見し、地産地消のモデルケースを作ることができた。
⑥ 林道・林業専用道の整備・維持修繕	支障木伐採事業	9,449	2,354	7,095	0	森林経営計画施業地へのアクセスする林道及び作業道の整備。	林道 L＝3,700m 作業道 L＝1,000m	張り出した枝や、支障木を除去することで、施業円滑化が図られた。
④ 公有林整備（財産区有林含む）	森林由来J-クレジット創出ポテンシャル分析業務委託	550	0	550	0	J-クレジット制度による森林管理実現に向けたポテンシャルの調査	ポテンシャル調査	林業の確立に向けた施業計画への基礎資料とすることができた。
⑤ 森林保護対策	松くい虫被害防除	641	0	641	0	松くい虫被害木の伐倒・燻蒸	伐倒・燻蒸 12.85m ²	被害拡大防止を図ることができた。
小計		29,758	21,472	8,286	0			

合計		29,758	21,472	8,286	0			
----	--	--------	--------	-------	---	--	--	--